



千代田区教育委員会 殿

千代田区立お茶の水幼稚園

浅川 宏 公印

平成28年度教育課程について（届）

このことについて、千代田区立学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおりお届けします。

記

1 教育目標

(1) 幼稚園の教育目標

- ◎あかるく げんきな子 ○なかよく あそぶ子 ○よくかんがえ やりぬく子
人権尊重の精神に基づき、幼児一人一人の特性を踏まえ、次のような幼児の育成を目指す。
- ① 遊びや生活にめあてをもって取り組み、のびのびと体を動かして遊ぶ幼児
 - ② 友達や様々な人とかかわりを楽しみ、互いのよさを認め合う幼児
 - ③ 考えて行動し、自分の力を十分に発揮する幼児

(2) 幼稚園の教育目標を達成するための基本方針

- ◎教師との信頼関係を基盤に情緒の安定を図る中で、基本的な生活習慣や態度を身に付けるとともに、体を動かすことを楽しみ、自分の力で行動しようとする自立の構えや体力の向上を培う。
- 友達との生活を楽しみ満足感や充実感を味わう中で、めあてをもって取り組み、自己を十分に発揮しようとする意欲やあきらめずに最後までやり遂げる態度を養う。
- 小学校や近隣保育所などの様々な人との交流や遊びの充実を図り、人とかかわる経験を重ねる中で、親しみや思いやりの気持ちを育み、一人一人の尊厳を重んじる社会性や道徳性の芽生えを培う。
- 身近な環境に興味や関心をもってかかわり、具体的な活動を通して、豊かな感性や表現力・知的好奇心・自ら考えようとする力を育む。
- 幼児一人一人の発達の特性と課題を把握し、その幼児らしさを十分に発揮できる園生活を保障する。
- 学校評価を教育内容の改善に活かし、家庭や地域の教育力を取り入れた教育活動を展開する。

2 指導の重点

(1) 教育課程の編成、実施にかかわる指導の重点

- ◎体を十分に動かし、自分の力で行動する喜びを味わえるよう、運動遊びの充実を図る。
- ・基本的な生活習慣の自立を図るために、各家庭の実態を踏まえ、一人一人の発達に応じた支援を工夫する。(健康・人間関係)
 - ・挑戦しようとする意欲や遊びのルールを守って楽しむ力を養うため、錦華公園での毎朝の体操やランニング・集団での遊びを継続するとともに、小学校の校庭や講堂を活用した運動遊び・遊戯室での巧技台を使った多様な動きを引き出す遊びを展開する。(健康・人間関係)
 - ・積極的に環境にかかわって遊ぶ力を育むために、興味や関心を引き出す活動や魅力ある行事の内容などを工夫する。(健康・環境・表現)
- 一人一人が自己を十分に発揮し、互いのよさを認め合えるよう、友達と協力して取り組む生活を展開する。
- ・自己肯定感や自尊感情を高めるために、相手に受け入れられる心地よさを積み重ねられるよう、ティーム保育を展開する中で、一人一人のありのままの姿や個性を丁寧に理解し、共感性をもって全職員で受け入れていく。(人間関係・言葉)
 - ・自分の気持ちを調整しながら友達と協力して楽しむ態度を養うために、自分の気持ちを言葉で表したり、相手の話をよく聞き受け止めたりする体験を重ねられるようにする。(人間関係・言葉)
- 自ら考えようとする気持ちが育つよう、友達と一緒に考え、新しい考えを生み出す喜びや楽しさを味わったり、共同して取り組んだりする活動を取り入れる。
- ・友達と一緒に遊びや生活を楽しみ、友達のいろいろな表現に触れる中で、自分とは違う考えに気づき、自分の考えや表現の方法を広げていかれるよう、共通のめあてに向かって取り組む活動を意図的・計画的に実施する。(人間関係・言葉・環境・表現)
 - ・季節により自然や人間の生活の様子に変化があることに気づき、関心をもてるよう、身近な錦華公園の自然物を使った表現遊びを取り入れたたり、遠足で同じ目的地に季節を変えて訪れたりする。また、地域行事など園外での直接的な体験を自分たちの生活に再現して楽しむ機会を工夫する。(健康・人間関係・環境・表現)

(2) 環境の構成

- ◎進んで体を動かす楽しさを味わえるように、錦華公園・校庭・講堂・遊戯室のそれぞれの特徴を活かした遊びを意図的・計画的に行う。それぞれの場で行う活動に〔さんさんタイム〕〔のびのびタイム〕〔きんにくもりもりタイム〕と親しみやすい名称を付け、活動のイメージと期待をもって意欲的に取り組めるようにする。また、幼児が主体的に環境にかかわり、自分の力を発揮できるよう、発達段階に即した運動遊具の提示や遊びの工夫に努める。
- 生活習慣・食育・運動遊びなどの健康や体力向上に対する意識を高めるために、小学校の養護教諭・栄養士・運動遊びの外部講師と連携し、健康教育を推進する。
- 日本古来の行事や芸術に親しみをもち、感性豊かな心を育むために、季節行事を計画的に取り上げるとともに、お茶・新内節・木遣り・獅子舞・地域の祭など、日本の伝統・文化に触れる機会を設ける。また、保護者や地域の方の力を活かすことで、幼児が伝統や文化に主体的にかかわれるようにするとともに、身近な人々への親しみや気持ちや自分が大事にされているということを感じられるようにする。
- 世界の国々への興味や関心を広げ、国際理解の芽生えを培うために、外国人講師とのふれあいや視聴覚教材を活かした活動を楽しめるようにする。

- 優しく面倒を見てもらう嬉しさや、相手に喜ばれたり感謝されたりする嬉しさなど、人とかわることでこそ得られる快感情体験ができるよう、異年齢のパートナーやグループを決めて継続的に交流する機会を作っていく。
- 自然の美しさや生命の尊さに気付き、大切にしようとする気持ちを育むために、〔おひさまガーデン〕やテラス・錦華公園の自然環境を活用し、植物を育てる・収穫を喜ぶ・小動物の世話においては責任をもって行うなどの直接体験ができるようにする。
- 資源や自然を大切にしようとする気持ちがもてるよう、千代田エコシステムのもとに、リサイクルや節電・節水などの環境教育を推進する。

(3) その他

- 特別支援教育
 - ・一人一人の発達や個性に応じた指導を行うために、巡回アドバイザーやスクールカウンセラー、外部の関係諸機関と連携し、情報と指導方針の共通理解を図り、全職員の指導体制を整えていく。
- 保幼小連携
 - ・人とのかわりを豊かにし、親しみや思いやりの気持ちを育むために、小学校や近隣保育所と年間計画に基づいた交流活動を実施する。実施にあたっては、職員同士の事前事後の話し合いを行い、互惠性のある交流を工夫する。
 - ・近隣に認証保育所を含めた就学前施設が増える現状を踏まえ、地域の拠点園として併設小学校との連携のもとに就学前教育の充実に努める。
- 安全教育
 - ・緊急災害時への構えや安全に対する意識を高めるために、神田警察や神田消防署と連携し、避難訓練や安全指導の内容を見直し、多様な状況を想定した訓練を繰り返し行い、安全教育の徹底を図る。
- 家庭との連携・子育て支援
 - ・保護者の幼稚園教育への理解を深めるとともに、保護者自身が安定して子育てができるよう、幼稚園公開、行事への参観・参加などを実施する。また、園生活等説明会や保護者会、学級懇談会、個人面談、学級だよりなどで、教育内容や幼児の育ちなどを伝える工夫をする。
 - ・登降園時における保護者との直接対話の機会を有効に活かす。
 - ・預かり保育を実施し、保護者自身がゆとりと生きがいをもって子育てに臨めるよう支援する。
 - ・地域の中の幼稚園として、未就園児の会（ひよこタイム）、巡回アドバイザーやスクールカウンセラーとの相談会、外部講師を招いての講演、保護者ボランティアによる絵本などの読み聞かせの会、施設や遊具の開放など、保護者同士の関係作りや親育ちのための支援を行う。
- 園内研究
 - 研究主題 『21世紀をたくましく生きぬく子どもの育成』

第3表

3 教育日数及び教育時数

(1) 年間教育週数及び教育日数配当表

月 学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
5 歳	16	19	23	14	0	21	21	21	17	17	20	12	201
	14週4日					16週2日				9週4日			40週
4 歳	16	19	23	14	0	21	21	21	17	17	20	13	202
	14週4日					16週2日				10週			40週1日
3 歳	15	19	23	14	0	21	21	21	17	17	20	13	201
	14週3日					16週2日				10週			40週
備考	6/11、7/9に土曜保育を実施するため、計2日の増となる。					9/10、10/8、11/12、12/10に土曜保育を実施するため、計4日の増となる。				1/14、2/4に土曜保育を実施するため、計2日の増となる。			土曜保育計8日

(2) 教育時間

月 学年	I	II	III	IV	V	VI	備考
5 歳	4月7日 ～ 4月8日	4月11日 ～ 3月16日					水曜日 4・5歳児 11時30分 降園
	8時50分 ～ 11時30分	8時50分 ～ 14時00分					
4 歳	4月7日 ～ 4月8日	4月11日 ～ 3月17日					3歳児 11時20分 降園
	8時50分 ～ 11時30分	8時50分 ～ 14時00分					
3 歳	4月8日 ～ 4月13日	4月14日 ～ 4月18日	4月19日 ～ 5月12日	5月13日 ～ 6月15日	6月16日 ～ 10月19日	10月20日 ～ 3月17日	土曜保育 全学年 11時降園
	8時50分 ～ 10時30分	8時50分 ～ 11時00分	8時50分 ～ 11時20分	8時50分 ～ 13時00分	8時50分 ～ 13時30分	8時50分 ～ 13時50分	

(3) 1日の標準教育時間

5歳	4時間	4歳	4時間	3歳	4時間
----	-----	----	-----	----	-----

第4表の1

4 学校行事

	4		5		6		7		8		9	
	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事
1	金		日		水		金		月		木	始業式
2	土		月		木	避難訓練	土		火		金	水遊び指導終
3	日		火	憲法記念日	金		日		水		土	
4	月		水	みどりの日	土		月		木		日	
5	火		木	こどもの日	日		火		金		月	
6	水	春季休業日終	金		月	(区)一斉清掃の日	水		土		火	
7	木	始業式	土		火		木		日		水	
8	金	入園式 安全指導日	日		水		金		月		木	
9	土		月		木		土		火		金	安全指導日
10	日		火	安全指導日	金		日		水	夏期休業日	土	避難訓練
11	月	定期健康診断始	水		土	幼稚園公開	月	安全指導日	木	山の日	日	
12	火		木		日		火	避難訓練	金		月	
13	水		金		月	避難訓練	水		土		火	遠足(3)
14	木		土		火	水遊び指導始	木		日		水	
15	金	避難訓練	日		水	安全指導日	金		月	夏期休業日	木	
16	土		月		木		土		火	夏期休業日	金	
17	日		火		金	遠足(4・5)	日		水		土	
18	月		水		土		月	海の日	木		日	
19	火	遠足(4・5)	木	避難訓練	日		火		金		月	敬老の日
20	水		金		月		水	終業式	土		火	
21	木		土		火		木	夏季休業日始 前期夏季水遊び指導始	日		水	
22	金		日		水		金		月		木	秋分の日
23	土		月		木		土		火		金	
24	日		火		金		日		水		土	運動会
25	月		水		土		月		木		日	
26	火		木		日		火	前期夏季水遊び指導終	金	後期夏季水遊び指導始	月	振替休業日
27	水		金		月		水		土		火	
28	木		土		火		木		日		水	
29	金	昭和の日	日		水		金		月	後期夏季水遊び指導終	木	
30	土		月		木	定期健康診断終	土		火		金	
31			火	遠足(4・5)			日		水	夏季休業日終		

第4表の2

4 学校行事

	10		11		12		1		2		3	
	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事
1	土	都民の日	火		木		日	元日	水		水	
2	日		水		金		月		木		木	
3	月		木	文化の日	土		火		金		金	避難訓練
4	火		金		日		水		土	幼稚園公開	土	
5	水		土	東京都教育の日	月		木		日		日	
6	木		日		火		金		月		月	
7	金		月	(区)一斉清掃の日	水		土	冬季休業日終	火		火	
8	土	ふれあいスポーツデー	火	遠足(全)	木		日		水		水	
9	日		水	避難訓練	金	安全指導日	月	成人の日	木		木	
10	月	体育の日	木	安全指導日	土	こども劇場	火	始業式	金	開園記念日	金	安全指導日
11	火	安全指導日	金	(区)合同子ども会	日		水		土	建国記念の日	土	
12	水		土		月		木	安全指導日	日		日	
13	木		日		火	避難訓練	金		月		月	
14	金		月		水		土		火		火	
15	土		火		木		日		水		水	
16	日		水		金		月		木	避難訓練	木	修了式
17	月		木		土		火		金		金	終業式
18	火		金		日		水		土		土	
19	水		土		月		木		日		日	
20	木		日		火		金		月		月	春分の日 春季休業日始
21	金		月		水		土		火		火	
22	土		火		木	終業式	日		水		水	
23	日		水	勤労感謝の日	金	天皇誕生日	月	避難訓練	木	安全指導日	木	
24	月	避難訓練	木	展览会始	土		火		金	遠足(全)	金	
25	火	遠足(全)	金		日		水		土		土	
26	水		土	展览会終	月	冬季休業日始	木		日		日	
27	木		日		火		金	(区)連合作品展始	月		月	
28	金	避難訓練	月	振替休業日	水		土		火		火	
29	土		火		木		日		\		水	
30	日		水		金		月	(区)連合作品展終			木	
31	月		/		土		火		/		金	